

令和6年度 指定管理施設評価票

1 基本情報

(令和7年3月31日時点)

施設名	港区立図書館（三田、高輪、港南、台場、高輪分室）						
指定管理者	TRC・大星ビル管理共同事業体						
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日						
募集方法	公募	グループ化の有無	○	利用料金制の採用	－	使用許可権限の付与	－
施設所管課	教育推進部図書文化財課						

2 職員体制

(単位：人)

	正規		非正規		委託（シルバー人材センター等）	合計		
	常勤	非常勤	常勤	非常勤				
職員数	58	50	8	35	24	11	0	93
		令和6年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度		備考
正規・非正規職員の退職者数		5						

3 指定期間における事業実績

事業実績	令和6年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度	備考
入館者数（人）	1,228,841					
資料貸出数（点）	1,214,539					
行事開催数（回）	463					

4 指定期間における経費実績

(単位：円)

項目	令和6年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度	備考	
経費実績	収入	573,275,676	0	0	0	0	
	指定管理料（清算後）	573,275,676					
	利用料金収入	0					
	その他収入	0					
	支出	573,275,676	0	0	0	0	
	職員人件費	317,714,241					
	光熱水費	20,931,945					
	修繕費	3,212,660					
	事業運営費	25,130,945					
	施設管理経費	33,730,885					
	その他経費	172,555,000					
	差引収支額	0	0	0	0	0	
	年度協定書で定める指定管理料	587,178,000					

5 管理運営状況に対する評価

項目	評価視点	指定管理者による評価	区による評価		
			評価	加算	点数
【施設の維持管理】	① 設備機器の保守管理	仕様書等に従い、適切に設備機器の保守管理が行われ、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	×1	5 / 5
	② 清掃及び衛生管理	仕様書等に従い、適切に清掃及び衛生設備の保守管理が行われ、施設が清潔に保たれていたか。	5 / 5	×1	5 / 5
	③ 修繕対応	迅速に修繕がなされ、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	×1	5 / 5
【事業運営】	④ サービスの向上	事業計画書で定めた事業を適切に実施するとともに、公募時の提案や利用者の声等を事業に反映するなどサービス向上を図っていたか。	3 / 5	×5	15 / 25
	⑤ 職員配置	事業計画書等で定めたとおり、必要な知識や技能を持った職員が適正に配置されていたか。	5 / 5	×2	10 / 10
	⑥ 人材育成	施設長や職員に対する研修などにより、サービスの向上に向けたスキルアップに取り組んでいたか。	5 / 5	×1	5 / 5
	⑦ 労働環境	区が定める最低賃金水準額を遵守するとともに、ハラスメントが通報されないなど、職員にとって良好な労働環境が確保されていたか。	5 / 5	×2	10 / 10
	⑧ 安全管理・危機管理	施設の日常安全点検を実施するとともに、災害や事件・事故発生時の体制や対応の確立などにより、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	×3	15 / 15
	⑨ 個人情報保護・情報セキュリティ	個人情報や情報セキュリティの社内規程を整備し、区の規程とともに遵守して、適正に運用していたか。	5 / 5	×1	5 / 5
	⑩ 区施策への協力	高齢者や障害者の雇用促進、区内事業者の活用、施設の省エネ促進等、区の施策を理解し積極的に協力していたか。	5 / 5	×3	15 / 15
区による評価合計点					90 / 100

【各項目の評価について】

- 5点：当該項目に係る事項については、充実した取組が展開されていた。
 3点：当該項目に係る事項については、概ね適切に取り組んでいた。
 1点：当該項目に係る事項については、更なる取組の推進が必要であった。
 ※複合施設の入居施設等で、当該施設の指定管理者が設備機器の保守管理等を直接実施していない場合、該当項目は「－：評価対象外」とします。

指定管理者による自己評価	図書館の基幹業務の誠実な遂行と、各館では工夫を凝らした各種イベントを開催し、来館や利用促進につなげました。各館が、各地域の学校や社会教育施設等との連携を進めるとともに、三田図書館、高輪図書館では、大学や企業との連携も積極的に行いました。学校連携では、出張授業のほか「港区図書館を使った調べる学習コンクール」にも注力しました。4館1分室の入館者数は前年度比101.9%の1,228,841人、新規登録者数は前年度比105.0%の13,342人でした。施設管理は、利用者の安全・安心を第一に実施しました。今後の課題として、昨年度図書館となった台場図書館について、イベントの開催や地域連携を主体的に進めていく、三田図書館を中心に図書館ホームページの運用管理等、ICTを活用した取組を効果的に進めていくよう取り組んでいきます。
区（施設所管課）による評価	募集時に提案のあった連携事業について、地域や大学、企業との連携を積極的に取り組んでおり、各館の事業についても概ね実施できています。年間を通じて4館1分室合計293回の展示を行い、特に古い模型飛行機、車の展示や、白金の丘学園小学校のPOP展示など多くの利用者の目を引いていました。 また、調べ学習コンクールでは三田図書館が主導の元、全館で協力したことで多くの作品が提出され、全国大会において毎日新聞社賞の受賞がありました。 引き続き、公募時に提案している事業を着実に実施し、サービスの充実に努めてください。

6 評価

令和6年度の管理運営に関する総合評価

S

【総合評価について（項番5における区による評価合計点の得点率）】

- S：施設の管理運営は特に優れていた（90%以上）
 A：施設の管理運営は優れていた（80%以上90%未満）
 B：施設の管理運営は適切に行われていた（60%以上80%未満）
 C：施設の管理運営に改善が必要であった（60%未満）